

名古屋の夜間工事 安全パトロール

佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は、名古屋市中区で中部支店が施工する工事の夜間安全パトロールを11月25日に実施した。写真。パトロールでは重機と人が接触しないように適切に分離されているかや、ワイヤの点検状況、交通整理員の配置状況などを確認した。現場の社員や協力会社との意見交換も行い、特に働き方改革や担い手の確保、就労環境を取り巻く課題で職員らの意見を聞いた。

パトロールは「令和元年度19号丸の内地区舗装修繕工事」（国土交通省中部地方整備局発注）の現場で実施した。施工場所は交通量の多い交差点で、交差点中央部をP C a（プレキャスト）コンクリート版、周辺部を現場打ちコンクリート



で夜間施工する。パトロール後に講評した石井社長は「交差点内のP C aコンクリート版の設置も終盤となり作業員も慣れてきているが、慣れによる慢心が事故につながるケースが多い。狭い規制内での誘導や停止位置等、現場で決めたルールをしっかり守ること」と工事終盤の注意喚起を促した。第三者事故の防止に向けては「万が一一般車が規制内に進入してきても、自分の身を守るように全員で自己防衛の意識を高めてもらいたい」と要請した。

